

平成28年度栃木市スポーツ推進審議会第1回会議録

日時：平成28年7月15日（金）午前10時

委嘱状交付式終了後

場所：栃木市国府公民館 小・中会議室

1 本審議会の出席委員は、次のとおりである。

黒後 洋委員、茅島有子委員、伊藤良子委員、小笠原義仁委員、川津正夫委員、  
中村光一委員、三柴 茂委員、猿山美代子委員、新村 尚委員、栃木 孝委員、  
小澤朝子委員、舘野美晴委員、小林勇夫委員

2 本審議会の欠席委員は、おりません。

3 本審議会の出席事務局職員は、次のとおりである。

生涯学習部長	鶴飼信行	
スポーツ振興課長	横倉延男	
スポーツ振興課長補佐兼スポーツ振興係長	上岡 豊	
スポーツ振興課長補佐	砂岡良治	
スポーツ振興課副主幹兼スポーツ施設係長	高久充弘	

《会 議》

1. 開 会 先に10時00分より委嘱状交付式を行い、交付式終了後の10時08分に開会した。  
内容に先立ち各委員の自己紹介を行う。（名簿順）

2. 内 容

(1) 審議会の任務について

栃木市スポーツ推進審議会条例第2条により任務が定められている旨事務局より説明する。

資料 栃木市スポーツ推進審議会条例

(2) 会長・副会長の選任について

栃木市スポーツ推進審議会条例第5条により委員の互選によって選出となるが、意見がなかったため、事務局案として会長に黒後洋委員、副会長に猿山美代子委員を提案し、全委員の承認により選任された。

栃木市スポーツ推進審議会条例第7条により、黒後会長が議長となる。

(3) 栃木市スポーツマスタープランについて

資料により事務局説明

資料 栃木市スポーツマスタープラン 製本版 及び 概要版

議長 今後については、栃木市スポーツマスタープランのP65にあるように、スポーツ推進審議会として、PDCAサイクルにおける検証と改善が重要となってくると思う。

A委員 立派な栃木市スポーツマスタープランが策定できた。平成26年から27年度の成果があったと言える。この後のプランの検証と改善を進めていくことが大事である。

B委員 今年はリオオリンピックがあり、今後は東京オリンピックや栃木国体などがあるが、

他市では、懸垂幕を使うなど積極的な広報が見られる。栃木市も積極的な広報に力を注いでいただきたい。

また、年々スポーツ指導者の年齢が高くなる一方であり、指導者の育成も課題だと思ふ。

事務局 今回のリオオリンピックにおいても、栃木市出身の選手でラグビー代表の話があったが、残念ながら一歩及ばずという結果であった。

また、全国大会出場者の市長表敬訪問などもあり、市民への広報・お知らせなどを考えていきたい。

議長 情報発信の方法が県では、フェイスブックや広報紙、ホームページなどがあるが。

A委員 市体育協会でも毎年評議員会において表彰を行っており広報していきたい。

C委員 小山市と比較すると栃木市は、懸垂幕など少ないと思うのだが。

事務局 栃木市でも、フェイスブックやツイッター、ホームページに広報紙、記者会見など行っている状況にある。

市では今年度からシティプロモーション課が新設され、広報に力を入れており、これから成果が出てくるものと考えている。

また、マスコット「とち介」が市のPRの仲介役に加わることで、今後の情報発信を強化していきたい。

C委員 懸垂幕にしても設置場所を検討してみてもどうか。市役所と栃木駅とどちらが有効なのだろうか。

事務局 駅の自由通路には有料広告スペースがあり市のPRスペースとしても活用している。

事務局 駅への設置は、安全対策などの条件面が厳しい部分もある。

議長 予算の問題もあるが、駅や周辺への大会結果やポスター掲示などを検討してもよいのではないか。

D委員 子ども達がスポーツを好きになるために、市には立派な陸上競技場があり、西方には体育館があるので、トップ選手を見る機会やイベントを実施することで、子ども達へ影響を与えることができるのではないか。

議長 議題の(4)栃木市のスポーツの現状と課題の関係も出てきましたので、(4)の説明をお願いしたい。

事務局 資料により事務局説明。先の意見をうけ、FMくららを利用しPRの方法や渡良瀬遊水地とのコラボレーションについて強調する。資料の他各種教室は体協に委託している旨補足する。

**資料**平成28年度スポーツ振興課年間予定表

A委員 市体育協会においても、栃木市スポーツマスタープランのP23のように35専門部で各種大会だけでなく、教室事業を開催しているので、皆様からも協力をお願いしたい。

B委員 渡良瀬遊水地の件では、毎年冬場に水を抜く時期がある。遊水地では高校生がカヌーの練習をしているが、年々水を入れる時期が遅くなっているため、国や他市と協力して水を入れる時期を少しでも早くしてほしい。

E委員 遊水地の乾上げは、東京都心の水がめであり雑菌の関係から短時間では難しい。

しかし、ボート競技は、遊水地の特色あるスポーツであるため、アピールをお願いしたい。また、わたらせナイツなどPRに力を入れていただきたい。

1市5町が合併し、市全体のイベント開催が良いが、なかなか難しいところがある。藤岡でイベントを開催しても、なかなか都賀・西方からの参加者は少なく、県外からの参加者が多いといった現状にある。

子ども達への学校体育部活と社会体育の融合がうまくいっていないようである。市や学校、他団体との施設利用を含めた棲み分けを考えていく必要がある。

D委員 岩舟では、資料の年間予定表にあるようにタグラグビーを実施している。ラグビー関係者の校長が指導をしており、他にも種目によってスポーツ推進委員が学校へ行っ

て指導をしている。行政の予算もあるので、有効な利用を検討してほしい。

F 委員

今後、子どもが少なくなるので難しくなるが、子どものスポーツ育成については、小学生の時に活躍しても中学校に部活がその種目が無いといったケースがあり、中には県外へ行ってしまいうこともあり残念である。学校体育・部活での指導者やボランティアとの融合が課題である。

資料の年間予定表については実施結果を出していただきたい。

議長

学校開放事業についてご意見は。

G 委員

学校行事があるとき以外は、開放については問題無い。行事等については、学校側の都合もあり、その点を配慮していただきたい。

H 委員

私の学校では、特に問題無く利用されている。

議長

第2回のスポーツ推進審議会は、いつ頃か。

事務局

来年2月頃を予定している。年間予定表に記載した事業の実施結果を報告したい。

議長

(5) その他について。

事務局

特に無し。

議長

進行を事務局へお返しする。

事務局

本日のスポーツ推進審議회를終了する。

閉 会

午前 11 時 46 分